

ピラミッド「膝立ち危険」

運動会の組み体操 16年に三原で事故

専門家が注意喚起

春の運動会シーズンを前に、全国で骨折事故が多発する小中学校の組み体操に対し、専門家が注意を喚起している。特にピラミッドで最上段の子どもが両手を広げる「膝立ち」の危険性を指摘する。両手を突き、四つんばいの姿勢に改めるよう学校関係者に呼び掛けている。

(中島大)



広島大付属三原中が実施した組み体操の種目「移動ピラミッド」(2016年6月18日)

組み体操の事故に詳しい大阪経済大の西山豊教授(情報数学)が4月21日、自身のホームページ(HP)に初めて注意文を載せた。

種目「移動ピラミッド」は9人で3段に組み、土台の6人が動く。西山教授は最上段で膝立ちになると「膝の2点で全体重を支えるた

め、不安定で滑りやすい。移動すると後ろに落ちやすくなる」と警鐘を鳴らす。

この種目で起きた事故として、2016年6月に広島大付属三原中(三原市)の運動会での膝立ちの例を挙げる。現在、係争中。同中は17年に移動ピラミッドを中止している。

「静止型」のピラミッドで膝立ちをした事故も紹介。16年5月、石神井西中(東京都練馬区)で4段ピラミッドの最上段の女子生徒が両手を上げる際にバランスを崩して落下、肘を骨折する約2カ月のけがを負っ

た。

HPには、組み体操をすべきかどうか悩んだ時のフローチャート(日本スポーツ振興センター作成)も載せる。複数の質問に「YES」「NO」で答えると、「従来型の組み体操」「新しいスタイルの組み体操」「ダンス系演技十組み体操」「組み体操以外」の四つの選択肢に導く。

西山教授によると、16年度に全国の小中学校であった組み体操の事故件数は計4967件。負傷の割合は1万人に5人。「正しい知識で組み体操に臨んでほしい」と話す。ホームページは<http://www.osaka-ue.ac.jp/zemi/nishiyam>

尾道支局	☎0848(22)5258	FAX(20)00052
三原支局	☎0848(62)3676	FAX(60)00094
因島ステーション	☎0845(22)0766	FAX(26)00017
世羅支局	☎0847(22)0372	FAX(25)00017